

〈令和7年度 岩淵保育園 苦情・ご意見について〉

7月某日

○保育士が子どもに対して注意をしていたが、その時のM保育士の子どもに対する言葉かけが不適切ではないか?とご意見をいただきました。

【対応】

該当保育士に状況を確認すると「なかなか思いが伝わらず、感情的に注意してしまった」との事でした。伝わらない理由がどこにあるのかを振り返ること、また保育士は保育の専門家であることを踏まえて、子ども一人ひとりへの丁寧な関わりや適切な振る舞いで保育にあたって欲しいと伝えました。内容を保護者様にお伝えし、ご理解をいただきました。『不適切保育防止』について、全職員で園内研修を実施するとともに、月毎にセルフチェックを行ってまいります。

1月某日

○「園の門扉を子どもに閉めさせている保護者がいて危険を感じる。以前にも担任に伝えたのにも関わらず、未だに勢いよく閉めている子どもを見かける。」とご意見をいただきました。

【対応】

全園児保護者様宛に「ケガや事故を防止するため、門扉の開閉は、必ず大人がゆっくりとおこなってください。」と連絡アプリのお知らせ一斉配信で配信し、門扉にも掲示をして皆様に注意喚起をさせていただきました。

1月某日

○以前は、先生方の方から率先して子供を迎え入れてくださっている様に感じ、こちらとしても大変有り難く安心してお預けする事が出来ておりました。しかし、いつの頃からか、子供が泣いていても放置され、こちらから先生方をお願いしようにもお声がけし難いと感じる場面が増えた様に感じております。との内容のメールをいただきました。

【対応】

お母様が保育室内でお支度をしている間は、無理やり母子分離をさせることはかえって逆効果であると思い、あえて様子を見ることもありました。お母様が保育室を出られた後は、すぐに気持ちを切り替えてお気に入りのおもちゃで遊び始めたり保育者に甘えたりする事ができていましたので、担任との信頼関係はしっかりと構築されていると感じております。様々な事を理解するようになる半面で、自我を通そうとするのはこれくらいの年齢の子どもの特徴で、個人差はありますが成長過程と受け止めて見守っています。もしかすると、その辺の対応に「放置されている」と思われたのかもしれませんが、いずれにしても、今後はお父様・お母様が岩淵保育園の保育に対して疑問や誤解を抱かれることのないように努めて参ります。とメールで返信させていただきました。